

5 参考資料

(1) 検討委員会について

愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想の策定にあたっては、市の附属機関である「厚木市愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会」を計5回開催し、まちの現況と課題を踏まえた、まちづくりの方向性について検討を進めてきました。

ア 経過

開催日		案件
第1回	令和3年11月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件(1)委員会規則及び委員長等の選出について ・ 案件(2)会議等の公開に関する要綱等について ・ 案件(3)委員会の目的について ・ 案件(4)愛甲石田駅周辺のまちづくりについて ・ 案件(5)今後のスケジュールについて
第2回	令和4年2月4日(金) ※書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件(1)基本構想の範囲等について ・ 案件(2)まちづくりの分野別の方向性について
第3回	令和4年3月15日(火) ※書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件(1)駅周辺の将来像について
第4回	令和4年6月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件(1)まちづくりの手法や時期別の取組、今後の進め方について ・ 案件(2)提言書案について
第5回	令和4年8月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案件(1)提言書について

イ 委員名簿

No	役職	所属	氏名	種別
1	委員長	東海大学建築都市学部土木工学科 教授	梶田 佳孝	学識経験者
2	副委員長	愛甲宮前自治会 会長 (南毛利南地区自治会連絡協議会 会長)	田部井 俊平	関係団体の代表
3	委員	宿愛甲自治会 会長	高橋 茂	関係団体の代表
4	委員	コープ野村自治会 会長	上津原 研介	関係団体の代表
5	委員	宿愛甲商工振興会 会長	橋本 靖博	関係団体の代表
6	委員	上愛甲商工会 会長	菱山 昭宏	関係団体の代表
7	委員	国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査課長	三浦 淳(R4.4～)	関係行政機関
			山崎 敦広(~R4.3)	
8	委員	神奈川県 厚木土木事務所 道路維持課長	松田 英介	関係行政機関
9	委員	小田急電鉄株 まちづくり事業本部 エリア事業創造部課長	西村 靖生	交通事業者
10	委員	神奈川中央交通株 運輸計画部課長	佐藤 勝太	交通事業者
11	委員	タクシー厚木施設会 会長	渡辺 要	交通事業者
12	委員	市民	浅野 敦子	公募市民
13	委員	市民	竹内 輝明	公募市民
14	委員	市民	剣持 三春	公募市民

【任期】令和3年11月22日から令和4年10月31日まで

敬称略

ウ 提言書

令和4年9月15日に検討委員会から市へ提言書が提出されました。

令和4年9月15日

厚木市長 小林 常良 様

厚木市愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会

委員長 梶田 佳孝

愛甲石田駅周辺におけるまちづくりについて（提言）

令和3年11月の発足以来、本検討委員会では、厚木市の都市拠点である愛甲石田駅周辺における、これからのまちづくりの在るべき姿について、各委員の専門知識や経験を持ちより、活発な議論を重ねてきました。

ここに、愛甲石田駅周辺におけるまちづくりに向けた考え方を検討委員会の総意として取りまとめましたので、別添のとおり提言します。

本提言書の趣旨を尊重し、愛甲石田駅周辺のまちづくりを推進いただきますようお願いいたします。

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料

愛甲石田駅周辺のまちづくり に向けた提言書



令和4年9月
厚木市愛甲石田駅周辺
まちづくり検討委員会

はじめに

愛甲石田駅は、新型コロナウイルス感染症の影響前では乗降客数が一日5万人を誇る、小田急線沿線の中でも有数の駅です。郊外には大山や県立七沢森林公園があり、自然豊かで、眺望もよく、調和のとれたまちなみの特徴で、駅を最寄りとする企業も多く、駅周辺は厚木市の都市拠点として重要な役割を担っています。

しかしながら、駅周辺では、スーパーマーケットなどの生活を支える施設やカフェなどの気軽に立ち寄れる施設の不足、駅の乗降客数の増加に伴う通勤・通学時間帯の駅舎や歩道の混雑、周辺幹線道路の交通混雑とそれに伴う公共交通の遅れ、災害時の滞在スペースの不足など、まちとして多くの課題を抱えています。

また、駅近郊ではさまざまな開発が進み、今後はさらなる駅利用者の増加が予想されています。

そこで、私たちは、まちの課題を解決するため、さまざまな立場から意見を出し合い、まちづくりの方向性について検討しました。

駅周辺が、「地域の人、働く人、訪れる人」（＝みんな）にとって魅力あるまちとなるよう、次のとおり提言します。

厚木市愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会

委員一同

提言

第1の提言 地域の生活を支える駅周辺の魅力づくり

第2の提言 人にやさしく車も快適な道路環境

第3の提言 誰もが利用しやすい駅まち空間

第4の提言 地域資源や眺望をいかしたまちづくり

第5の提言 地域の防災力の向上

第6の提言 まちづくりへの取組

第1の提言 地域の生活を支える駅周辺の魅力づくり

< 現況と課題 >

- ① 駅周辺に商業施設(スーパーや飲食店など)が少ない
- ② 低未利用地が多く存在し、土地の高度利用が図られていない
- ③ 開発が起こりにくい環境(指定容積率など)
- ④ 公共施設の充実

提言

愛甲石田駅は、乗降客数が多く、都心まで小田急線一本で行けるなど、立地的なポテンシャルはあるが、駅周辺では駐車場等の低未利用地が多く、魅力のある施設や、生活を支える施設が少ない。

そのため、駅周辺は、ポテンシャルをいかし、駅周辺の利用者にとって時間を過ごしたくなるような魅力づくりや、公共公益施設を含めた生活を支える施設づくりを期待する。

駅周辺の魅力向上にあたっては、施設の内容が重要であることから、まちのニーズを踏まえるとともに、ニーズそのものが生まれる仕掛けづくりを検討されたい。

第2の提言 人にやさしく車も快適な道路環境

< 現況と課題 >

①愛甲宮前交差点を中心とした交通混雑

②企業バス乗り場までの歩道の混雑

③駅周辺の生活道路の安全性

提言

愛甲石田駅は、国道246号、県道604号などの幹線道路に近接しており、路線バス、駅へ向かう送迎車、企業送迎バスなどによる通勤・通学時間帯に愛甲宮前交差点を中心とした交通混雑が発生している。

また、通勤・通学時間帯での歩道の混雑や、駅周辺に存在する狭あい道路など、道路の安全対策に対する課題が多い。

交通混雑を改善するため、交差点の改良や、周辺のアkses道路の整備などのハード対策を検討するとともに、交通需要マネジメントなどのソフト対策についても併せて進められたい。

狭あい道路、歩道、歩行者デッキなど、歩行環境の整備についても利便性が向上するよう検討されたい。

第3の提言 誰もが利用しやすい駅まち空間

< 現況と課題 >

①通勤・通学ピーク時の路線バスの定時性

②通勤・通学ピーク時の駅の混雑

③北口駅前広場内でのバス、一般車等の交通の錯綜

④駅前広場面積の充実

⑤企業の送迎バスへの対応

提言

駅から目的地までの移動は、路線バスが主要な交通手段となっているが、交通混雑に伴う定時発着が課題である。また、通勤・通学時間帯には駅の混雑も発生している。

北口駅前広場では、一般車とバスやタクシーなどの公共交通との錯綜が発生しており、駅前広場の面積不足も懸念される場所である。また、駅周辺には企業が多く、企業等の送迎バスへの対応も必要である。

公共交通は駅利用者にとって主要な交通手段であるため、駅とその周辺を含む区域である「駅まち空間」を、誰もが利用しやすく快適となるよう整備を検討されたい。

企業等の送迎バスへの対応や、一般車と公共交通の錯綜を改善するため、駅前広場の拡張を検討されたい。

第4の提言 地域資源や眺望をいかしたまちづくり

< 現況と課題 >

①駅周辺のオープンスペース（公園・広場など）の不足

②地域資源（大山の自然景観など）への配慮

③市の玄関口にふさわしい駅周辺の緑化と適切な維持管理

提言

駅周辺には、休憩ができるオープンスペースなどが少ないことから、みどりの多い公園等の充実を図られたい。

駅周辺には愛甲大塚古墳や、熊野神社などの文化資源もあることから、文化資源の保存に努めるとともに、駅にはそれらの観光・文化資源の発信拠点としての役割も望まれる。

駅周辺からは大山を望むことができ、郊外には県立七沢森林公園が立地していることから、眺望をいかした自然と調和したまちなみづくりを図られたい。

駅周辺環境の向上のため、みどりやグリーンインフラの充実を図るとともに、市民協働も含めた維持管理方法についても検討されたい。

第5の提言 地域の防災力の向上

< 現況と課題 >

① 駅周辺の一時滞在スペースの充実

② 災害時対応としての都市基盤の整備

提言

駅周辺には、駅利用者が発災後に一時滞在できるスペースの充実が望まれているとともに、狭あい道路や電柱が存在することから、今後想定される大規模な災害に対して防災対応力の不足が懸念される。

駅は、通勤・通学者が多く利用していることから、災害時に一時的に滞在できる施設や避難場所の整備を検討するとともに、災害時は情報が重要となることから、防災情報の発信拠点としての機能の充実を図りたい。

併せて、防災備蓄倉庫の整備や狭あい道路の解消など災害に強い都市基盤の整備を検討されたい。

第6の提言 まちづくりへの取組

提言

駅周辺が抱える様々な課題の改善に向けては、道路や駅前広場、公園といった都市基盤や商業施設等の充実が重要であることから、駅周辺の限られた資源を有効活用し、まちの魅力が最大限向上するように検討するとともに、何を優先するのか見極め、個別で効果が生まれる施策を進められたい。

併せて、まちの課題を一体的に改善することができる市街地再開発事業や土地区画整理事業などの面的整備手法の活用も検討されたい。

まちづくりは、様々なまちづくりの担い手が協力し合うことが重要であることから、担い手を育てる取組にも注力し、協働によるまちづくりを進められたい。

おわりに

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響や、SDGs、カーボンニュートラルなどの地球全体で取り組むべき目標が示され、私たちを取り巻く環境も複雑化しており、ハードだけでなく、持続可能で、様々な状況に柔軟に対応できるソフトも含めたまちづくりが求められています。

今後は、駅周辺の将来像である『身近に自然を感じ、みんなが心地よい時間を過ごせる、安全で快適なまち』の実現を目指し、ハード、ソフト両面で積極的にまちづくりを進めていただくとともに、行政だけに任せるのではなく、私たちも、まちづくりへの関心を持ちつづけ、市民協働によるまちづくりを進めていきたいと思ひます。

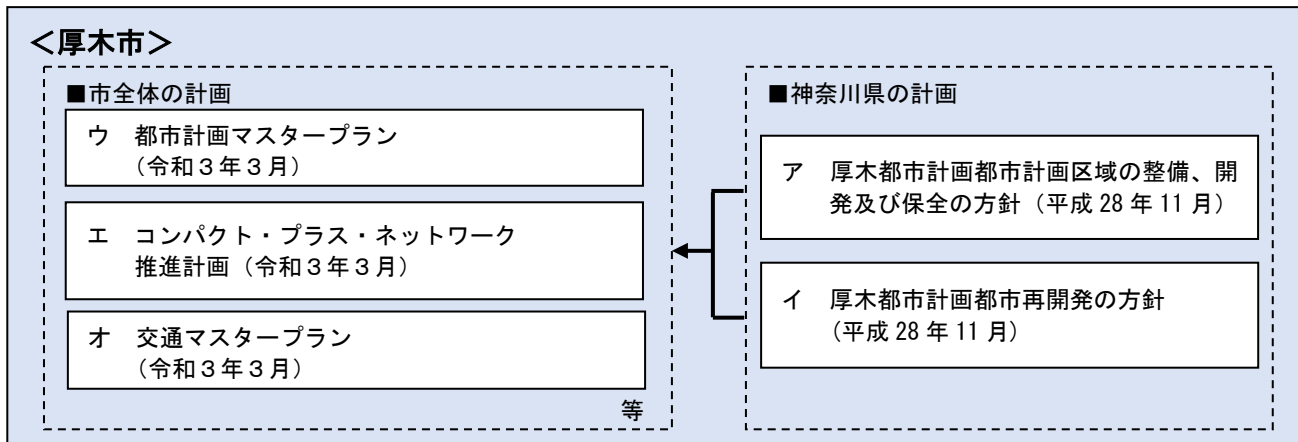
愛甲石田駅周辺のまちづくりをより良いものとするため、取りまとめたこの提言書を、これからのまちづくりにいかしていただければと思ひます。

厚木市愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会

委員一同

(2) 上位・関連計画

愛甲石田駅及びその周辺の位置付けを把握するため、土地利用に係る次の上位・関連計画を整理しました。



ア 厚木都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

(平成28年11月 神奈川県)

●土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・ 本厚木駅周辺地区の一極集中型から分散型の拠点をもつ都市構造の形成を図るため、愛甲石田駅周辺地区を「副都市中心拠点」として位置付け、計画的な都市基盤整備を進めながら、都市機能の充実を図る。
- ・ 愛甲石田駅周辺商業地を始めとするその他の地区については、土地の中密度利用を図る。

●都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・ 本厚木駅及び愛甲石田駅においては、多数の企業進出による従業員の利用増加等が予想されることから、将来需要を勘案しつつ、必要に応じて駅前広場や交通広場の機能拡充、企業バス発着場を整備。

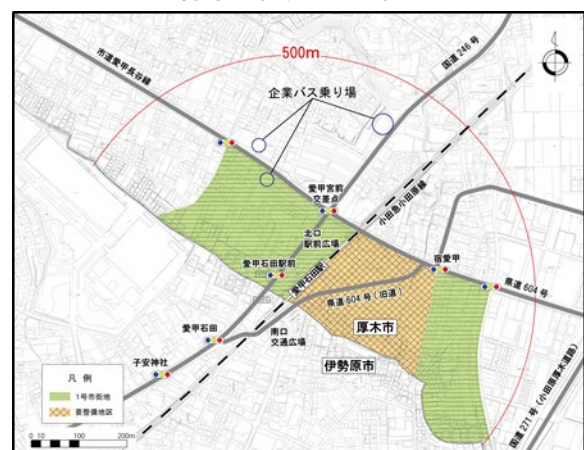
●市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・ おおむね10年以内に実施予定の主要な事業として「愛甲石田駅南口地区（市街地再開発事業、土地区画整理事業）」を位置付け。

イ 厚木都市計画 都市再開発の方針 (平成28年11月 神奈川県)

- ・ 愛甲石田駅周辺地区は、一号市街地に位置付けられ、「副都市中心拠点として、商業業務機能の導入を図るとともに、交通機能の拡充を図るため駅前広場を整備する。」とされている。そのうち、駅南口周辺地区（約4.9ha）は、要整備地区に位置付けられている。

都市再開発の方針図

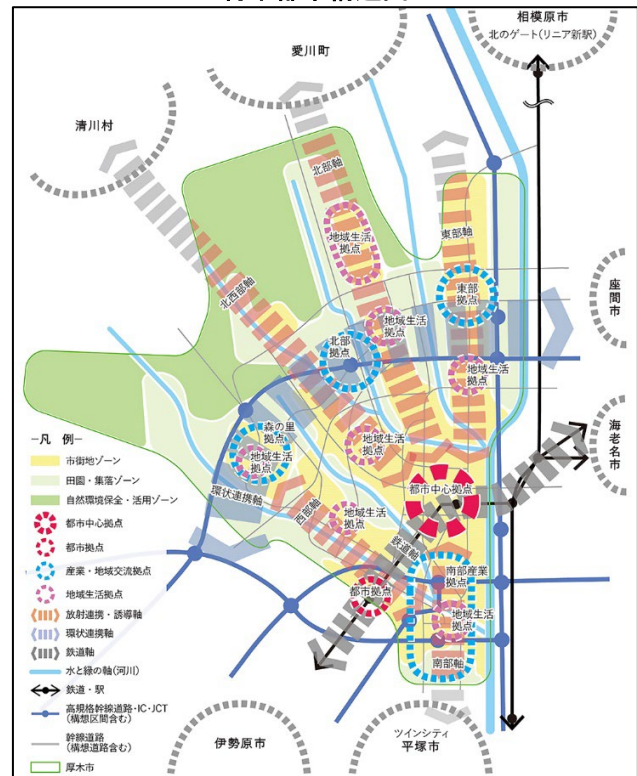


ウ 都市計画マスタープラン（令和3年3月）

（ア）全体構想

- 将来都市構造において、愛甲石田駅周辺は、都市機能集積のメリットをいかしたにぎわいの創出、生活利便性の向上及び産業の活性化を図るため、「都市拠点」に位置付け。
- 愛甲石田駅周辺では、地域住民の生活を支えるとともに、産業・地域交流拠点に近接する地域特性をいかした働く人の交流・滞留機能を有する都市拠点を形成。また、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積と、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備や快適で円滑な乗り換えが可能となる交通結節機能の充実を図る。

将来都市構造図



（イ）地域別構想：南毛利地域

●適切な土地利用の誘導

【愛甲石田駅周辺（都市拠点）】

- 産業・地域交流拠点に近接する地域特性をいかし、働く人の交流・滞留機能を高めるとともに、地域の生活を支える生活利便施設の誘導や、市街地再開発事業等により、商業・業務機能の充実した市街地を形成。
- 周辺の産業・地域交流拠点の整備や都市拠点の形成等による利用者の増加が見込まれることから、駅舎の改修を促進するとともに、路線バス、タクシー及び自家用車の利便性やアクセス性の向上のため、北口駅前広場の拡張や愛甲宮前交差点の改良等、交通環境を改善。

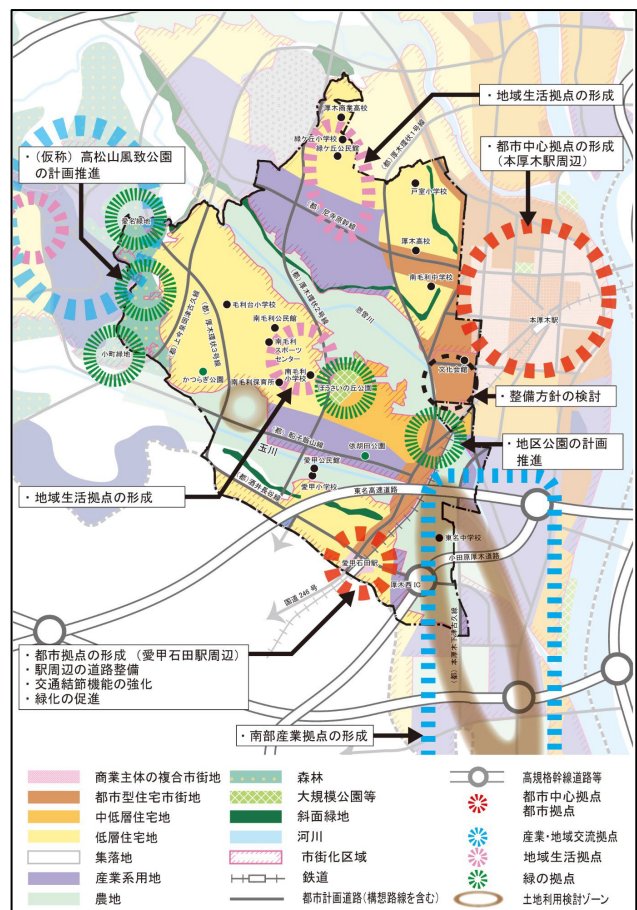
●交通利便性の向上

- 小田急小田原線を挟んだ東西の移動のしやすさの確保を図る。

●緑の保全・整備

- 愛甲石田駅周辺は、緑化重点地区として、市民、事業者、行政等が連携して緑化を進める。

土地利用図



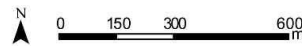
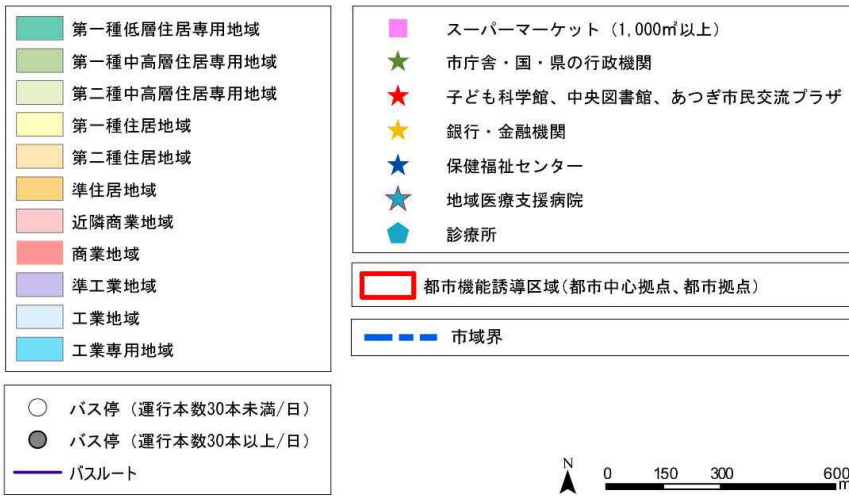
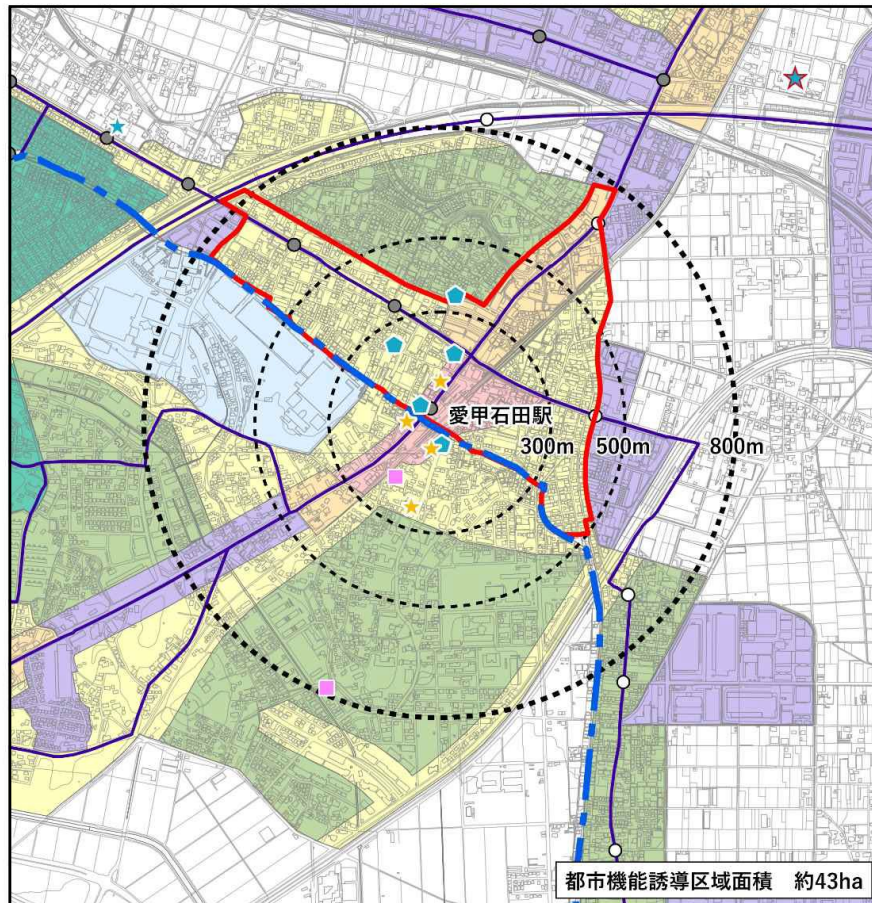
エ コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画（令和3年3月）

（ア）都市機能誘導区域

＜愛甲石田駅周辺の都市機能誘導区域＞

- ・ 愛甲石田駅から徒歩圏（半径 800m）におおむね収まるように設定【交通利便性】
- ・ 伊勢原市の立地適正化計画と整合【まちづくりとの整合性】

都市機能誘導区域（愛甲石田駅周辺）



(イ) 必要な施設（都市機能誘導施設）

- ・ 愛甲石田駅周辺については、駅利用者が増加することを踏まえ、公共交通と連動した駅前広場の整備・充実とともに、駅利用者や周辺住民の利便性を向上するための商業機能等を誘導するものとする。

各区域において維持・誘導する施設

誘導区域	分類	誘導施設の設定	維持	誘導	
本厚木駅周辺 (都市中心拠点)	行政機能	市庁舎	○	—	
	介護福祉機能	保健福祉センター	○	—	
	医療機能	地域医療支援病院	○	—	
	商業機能	大規模小売店舗 (3,000 m ² 以上)	○	○	
	子育て機能	子育て支援センター	○	—	
	教育・文化機能	図書館		○	—
		科学館		○	—
		市民交流施設		○	—
		市民ホール		—	○
		大学・短期大学・専門学校・専修学校 (サテライトキャンパスを含む。)	○	○	
愛甲石田駅周辺 (都市拠点)	商業機能	大規模小売店舗 (1,000 m ² 以上)	—	○	
	教育・文化機能	大学・短期大学・専門学校・専修学校 (サテライトキャンパスを含む。)	—	○	

(ウ) 都市機能に関する取組**<愛甲石田駅周辺（都市拠点）>**

- ・ 利用者の増加が見込まれる愛甲石田駅周辺については、駅周辺において地域を支える商業等の都市機能の誘導を図り、鉄道利用者が通勤・通学時に立ち寄れる施設を増やすことで、駅利用者や周辺住民にとって魅力ある環境の形成を目指す。
- ・ また、公共交通に関する施策と連動し、鉄道駅とバス待ち空間との連動性を高め、駅へのアクセス性の向上を図ることで交通結節点としての機能を高める。

(エ) 都市機能誘導に関する施策**<愛甲石田駅周辺市街地の利便性向上>**

- ・ 愛甲石田駅は通勤者の利用が多く、今後、周辺の土地区画整理事業に伴う企業立地が見込まれることから、乗降客数が更に増加することが予想される。
- ・ そのなかで、愛甲石田駅の駅前広場の拡充や周辺整備が計画されており、交通利便性を高めながら、都市拠点にふさわしい駅前空間が形成され、にぎわいを生み出すことが期待される。
- ・ したがって、交通結節点としての機能強化や、駅利用者や周辺住民の利便性を向上するための施設誘導を図る。

オ 交通マスタープラン（令和3年3月）

<愛甲石田駅周辺（都市拠点）>

- ・ 愛甲石田駅においては、「路線バス、タクシーだけでなく、企業送迎バスや自家用車による送迎も含めた各乗降場所等を鉄道駅周辺に効率的に配置し、それぞれの交通モードがスムーズに機能する環境を整備します。」とされている。

(ア) 定時性及び速達性が確保された快適な路線バスサービスの提供

- ・ 駅までのバス路線の維持及び強化として、市道愛甲長谷線等の放射道路の主要なバス路線について、路線バスの定時性、速達性及び快適性の向上についてバス事業者等と連携を図る。
- ・ 連節バスの新規路線導入による輸送力の増強として、愛甲石田駅から森の里までを候補路線とする。

(イ) 愛甲石田駅周辺における交通環境の改善

a 駅利用者の需要に対応した利用しやすい駅舎への改修

- ・ 朝夕のピーク時は、今後も周辺の開発等による駅利用者の増加が想定されることから、ホームへの昇降設備の増設や、改札口の増設等を鉄道事業者と連携して整備する。
- ・ 更なる利便性及び快適性の高い駅とするために、駅舎拡張等について検討を進める。

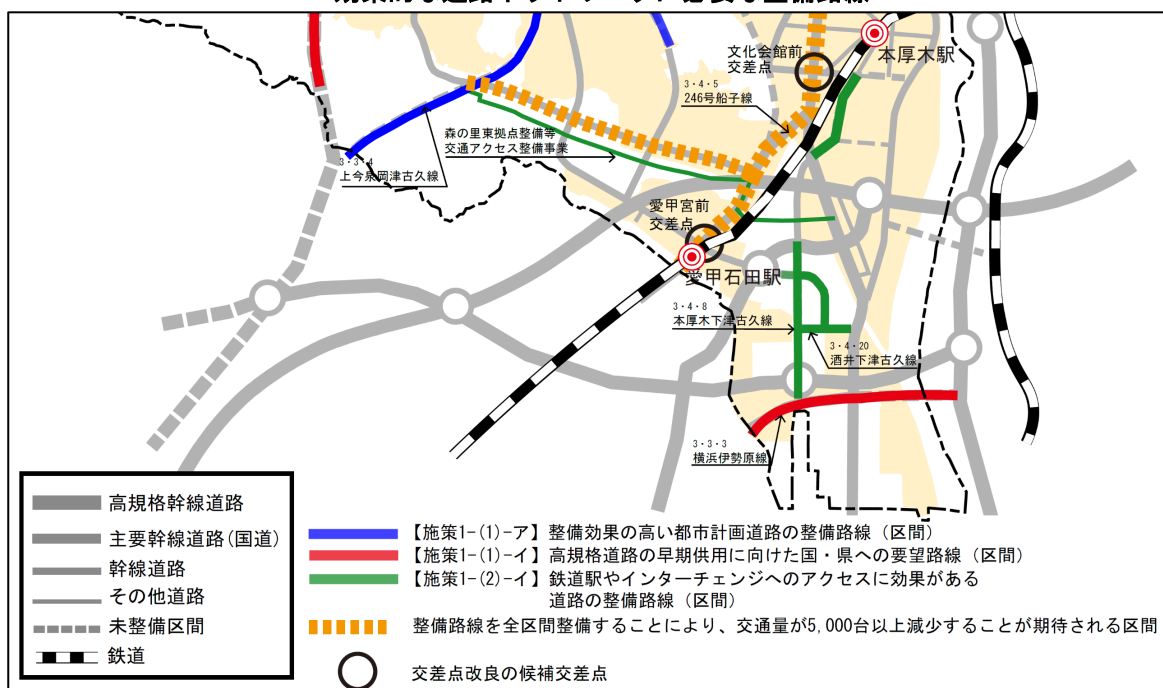
b 各車両の需要に見合うスペースを含めた駅前広場の拡張

- ・ 駅前広場における路線バス、タクシー、自家用車等の錯綜を改善するため、各車両の需要に見合う乗降スペースを含めた北口駅前広場の拡張整備を進める。

c 駅周辺の歩行空間の整備

- ・ 駅周辺の歩行者の混雑解消と安全性を確保するため歩行空間の整備を進める。

効果的な道路ネットワークに必要な整備路線



(3) アンケート調査結果

愛甲石田駅やその周辺のまちづくりに関する満足度や重要度を把握するため、在住者と駅利用者を対象にアンケート調査を実施しました。

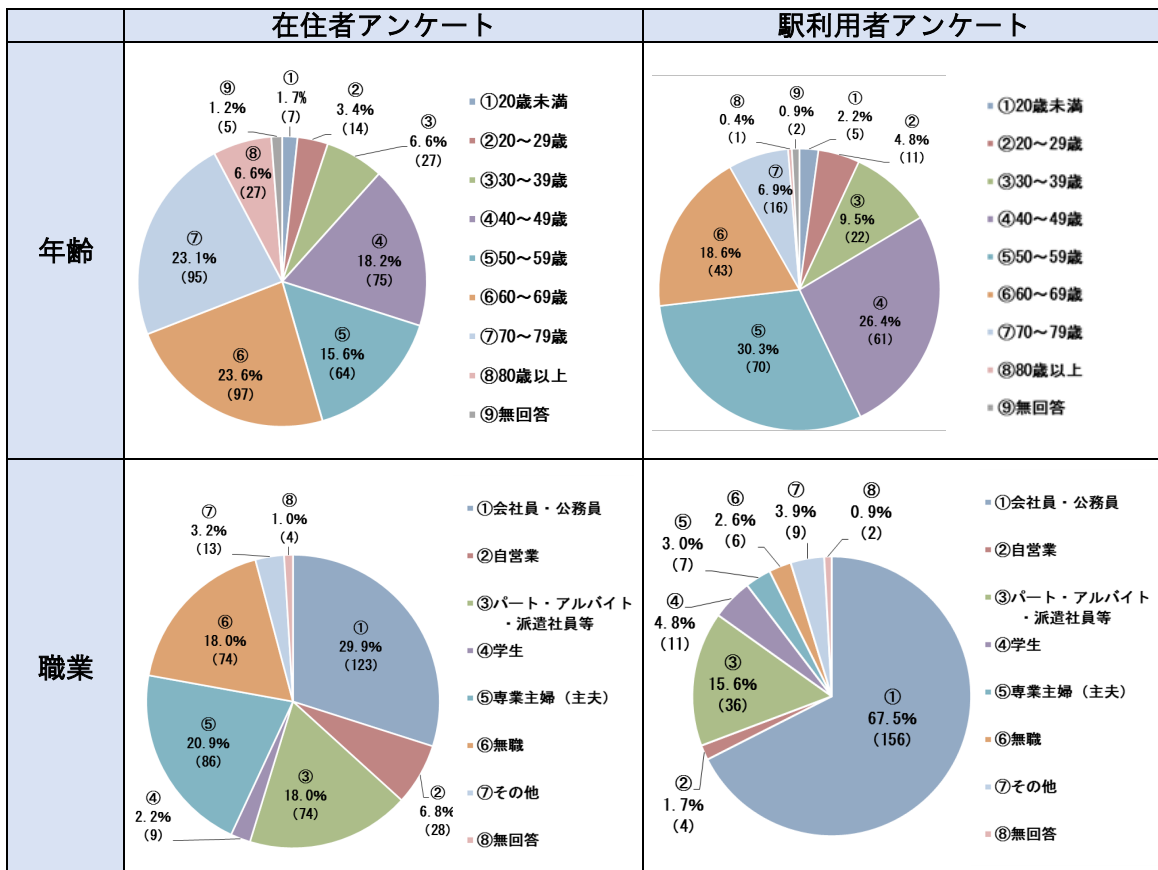
調査項目及び結果の概要は次のとおりです。

ア 愛甲石田駅周辺の交通環境に関するアンケート調査結果

(ア) 調査概要

	在住者アンケート	駅利用者アンケート
目的	・愛甲石田駅やその周辺の交通環境等に関する満足度・重要度等の把握	
対象	・愛甲石田駅周辺（伊勢原市含む）に在住の15歳以上の男女	・駅利用者（在住者以外）
方法	・郵送により配布、回収（無作為抽出）	・駅周辺での手渡し
期間	・平成30年9月上旬～10月中旬	・平成30年9月下旬～11月上旬
回収状況	・配布数：1300通 ・回収数：411通 ・回収率：31.6%	・配布数：1300通 ・回収数：231通 ・回収率：17.2%

(イ) 回答者属性



※円グラフの（）は回答数

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料

	在住者アンケート	駅利用者アンケート
主に利用する出口	<ul style="list-style-type: none"> ①北口 ②南口 ③利用しない ④無回答 	<ul style="list-style-type: none"> ①北口 ②南口 ③利用しない ④無回答
利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> ①週5回以上 ②週3~4回 ③週1~2回 ④月数回 ⑤年数回 ⑥その他 ⑦無回答 	<ul style="list-style-type: none"> ①週5回以上 ②週3~4回 ③週1~2回 ④月数回 ⑤年数回 ⑥その他 ⑦無回答
主な交通手段(駅前又は駅からの)	<ul style="list-style-type: none"> ①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤タクシー ⑥自家用車(自ら運転) ⑦自家用車(家族等による送迎) ⑧その他 ⑨無回答 	<ul style="list-style-type: none"> ①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤タクシー ⑥自家用車(自ら運転) ⑦自家用車(家族等による送迎) ⑧その他 ⑨無回答
利用目的		

※円グラフの () は回答数

(ウ) 結果概要

a 満足度・重要度

設問 愛甲石田駅やその周辺の現在の満足度と今後の重要度について教えてください。

※以下の各項目について満足度、重要度を5点満点で評価

項目

A 道路・交通	1 道路等	ア 愛甲宮前交差点の自動車での通行（安全性、混雑等）
		イ 国道246号・酒井長谷線の歩行空間（幅員、バリアフリー等）
		ウ 南口交通広場前の道路の歩行空間（幅員、バリアフリー等）
		エ 生活道路の自動車での通行（安全性、混雑等）
		オ 生活道路の歩行空間（幅員、バリアフリー等）
		カ 駅南側の踏切の通行（安全性、混雑等）
		キ 公共交通（路線バス）の利便性（台数、乗車時間等）
		ク 公共交通（タクシー）の利便性（台数、乗車時間等）
	2 駅舎	ケ 朝ピーク時の上り線側ホームや階段の通行（安全性、混雑等）
		コ 朝ピーク時の下り線側ホームや階段の通行（安全性、混雑等）
		サ 朝ピーク時の改札口の通行（安全性、混雑等）
		シ 改札口付近の待合せ空間
		ス 飲食店等の商業施設
	3 駅前広場・交通広場	セ 駅前広場・交通広場への自動車でのアクセス
		ソ 路線バス乗降場の利便性（位置、広さ等）
		タ タクシー乗降場の利便性（位置、広さ等）
		チ 一般車乗降場の利便性（位置、広さ、台数等）
		ツ 一般車の走行マナー
		テ 歩行空間（幅員、バリアフリー等）
		ト 待合せ、休憩、イベント等を開催できる空間、広場
		ナ 緑や景観
B 土地利用・建物利用	ニ 飲食店、カフェ	
	ヌ 食品や日用品を購入できる店舗	
	ネ 宿泊施設（ホテル、旅館等）	
	ノ サービス施設（銀行、病院、保育施設、介護施設等）	
	ハ 公園、広場	
	ヒ 公共施設（図書館、生涯学習施設、子育て支援施設等）	
	フ 駐車場	
	ヘ 駐輪場	

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料

(a) 満足度が高い項目（満足度の回答のうち、5点と4点の合計が多い項目）

		1位	2位	3位
在住者	全体	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（31%）	・路線バス乗降場の利便性（30%）	・（駅前広場の）歩行空間（25%）
	北口	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（34%）	・路線バス乗降場の利便性（33%）	・（駅前広場の）歩行空間（26%）
	南口	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（33%）	・路線バス乗降場の利便性（31%）	・南口交通広場前の道路の歩行空間（27%）
駅利用者	全体	・路線バス乗降場の利便性（29%）	・（駅前広場の）歩行空間（28%）	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（25%）
	北口	・（駅前広場の）歩行空間（31%）	・路線バス乗降場の利便性（24%）	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（23%）
	南口	・南口交通広場前の道路の歩行空間（41%）	・路線バス乗降場の利便性（39%）	・国道246号・酒井長谷線の歩行空間（29%） ・緑や景観（29%）

※（ ）は回答割合

(b) 満足度が低い項目（満足度の回答のうち、2点と1点の合計が多い項目）

		1位	2位	3位
在住者	全体	・食品や日用品を購入できる店舗（67%）	・駅南側の踏切の通行（65%）	・一般車乗降場の利便性（64%）
	北口	・一般車乗降場の利便性（70%）	・食品や日用品を購入できる店舗（69%）	・駅南側の踏切の通行（65%）
	南口	・駅南側の踏切の通行（78%）	・食品や日用品を購入できる店舗（73%）	・一般車乗降場の利便性（67%）
駅利用者	全体	・朝ピーク時の改札口の通行（63%）	・食品や日用品を購入できる店舗（58%） ・飲食店、カフェ（58%）	
	北口	・朝ピーク時の改札口の通行（61%）	・飲食店、カフェ（54%） ・食品や日用品を購入できる店舗（54%）	
	南口	・駅南側の踏切の通行（65%） ・朝ピーク時の改札口の通行（65%）		・食品や日用品を購入できる店舗（64%）

※（ ）は回答割合

(c) 重要度が高い項目（重要度の回答のうち、5点と4点の合計が多い項目）

		1位	2位	3位
在住者	全体	・愛甲宮前交差点の自動車での通行（70%）	・一般車乗降場の利便性（69%）	・生活道路の自動車での通行（68%）
	北口	・一般車乗降場の利便性（74%）	・愛甲宮前交差点の自動車での通行（73%）	・駅前広場・交通広場への自動車でのアクセス（70%）
	南口	・駅南側の踏切の通行（83%）	・生活道路の歩行空間（74%）	・生活道路の自動車での通行（73%）
駅利用者	全体	・朝ピーク時の改札口の通行（68%）	・朝ピーク時の下り線側ホームや階段の通行（62%）	・生活道路の歩行空間（59%）
	北口	・朝ピーク時の改札口の通行（66%）	・朝ピーク時の下り線側ホームや階段の通行（62%）	・愛甲宮前交差点の自動車での通行（56%）
	南口	・朝ピーク時の改札口の通行（71%）	・生活道路の歩行空間（67%） ・食品や日用品を購入できる店舗（67%）	

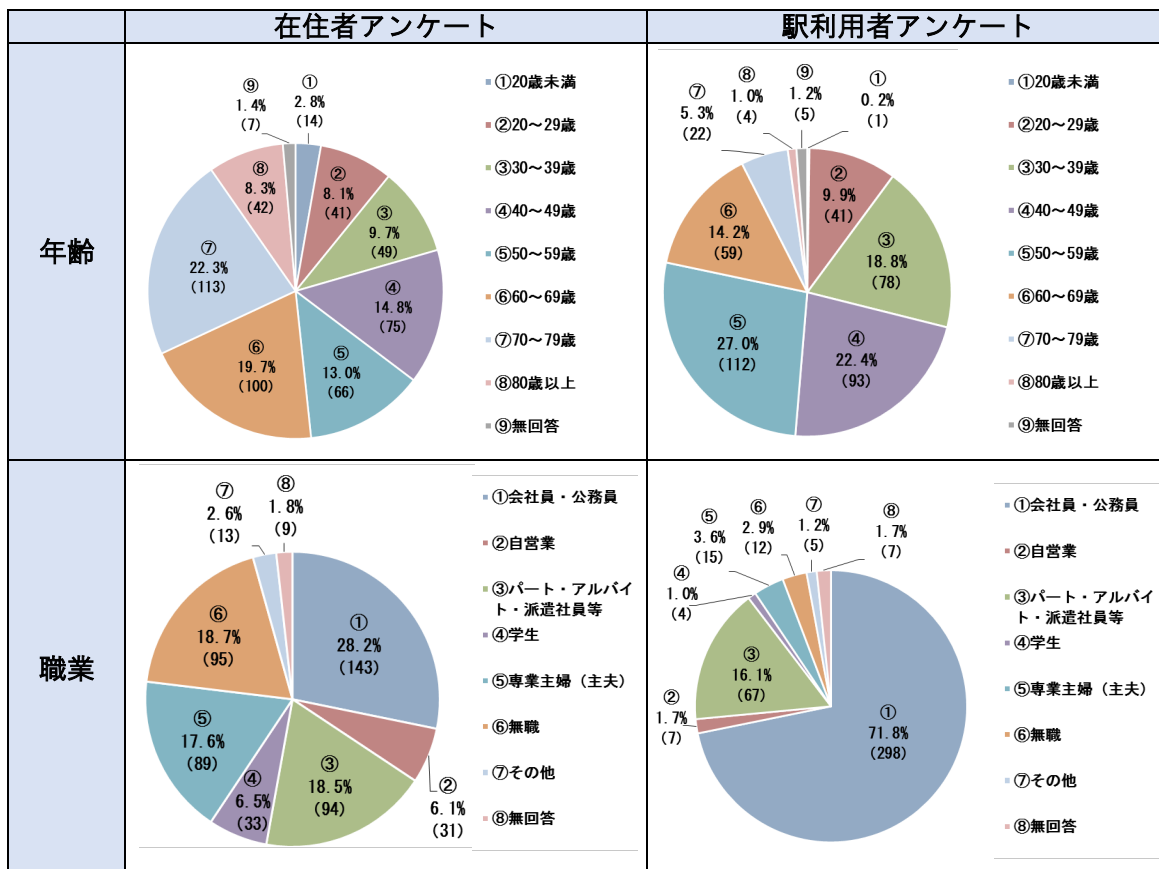
※（ ）は回答割合

イ 愛甲石田駅周辺のまちづくりに関するアンケート調査結果

(ア) 調査概要

	在住者アンケート	駅利用者アンケート
目的	・愛甲石田駅やその周辺のまちづくりに関する満足度・重要度等の把握	
対象	・愛甲石田駅周辺（伊勢原市含まず）に在住の15歳以上の男女	・駅利用者（在住者以外）
方法	・郵送により配布、回収 （無作為抽出）	・駅周辺で手渡し及び駅周辺企業への郵送により配布、回収
期間	・令和2年10月5日～10月19日	・令和2年10月4日～10月19日
回収状況	・配布数：1300通 ・回収数：507通 ・回収率：39.0%	・配布数：1724通 ・回収数：415通 ・回収率：24.1%

(イ) 回答者属性



※円グラフの（）は回答数

第1章

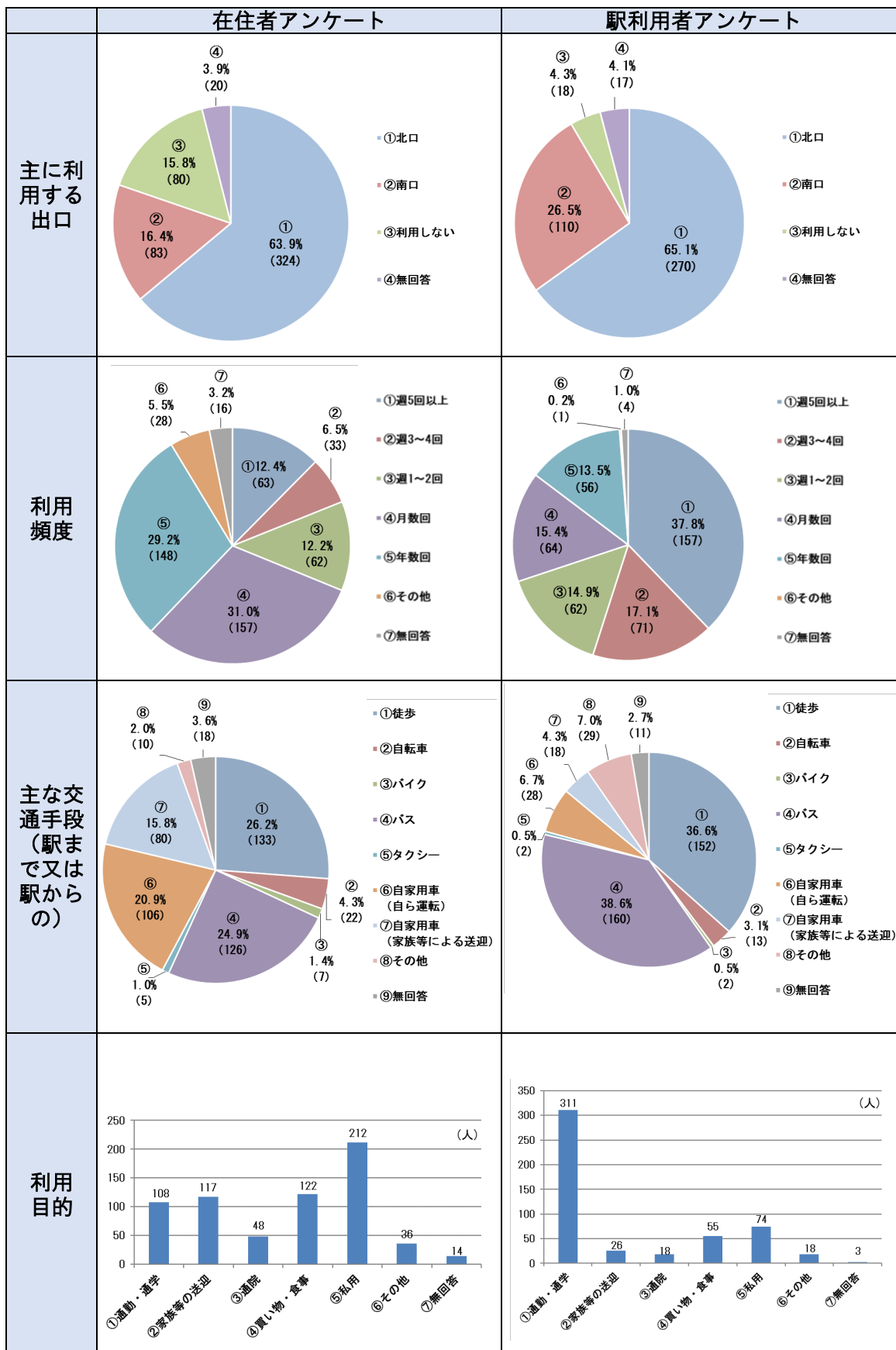
第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料



※円グラフの () は回答数

(ウ) 結果概要

a 満足度・重要度

設問 愛甲石田駅やその周辺の現在の満足度と今後の重要度について教えてください。

※以下の各項目について満足度、重要度を5点満点で評価

項目

土地利用、 周辺施設	ア	駅前の商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等)
	イ	公園や広場・オープンスペースの状況
	ウ	行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等)
	エ	医療・福祉・子育て関連施設の状況(保育所・幼稚園、医療施設、福祉介護関連施設等)
	オ	生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局、コインランドリー、クリーニング屋等)
自然、 景観	カ	駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)
	キ	駅周辺の街並み景観
	ク	駅付近からの大山の眺望等の景観
防災	ケ	駅周辺の避難場所
	コ	災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース
	サ	地域での防災体制、防災訓練

(a) 満足度が高い項目(満足度の回答のうち、5点と4点の合計が多い項目)

		1位	2位	3位
在住者	全体	・駅付近からの大山の眺望等の景観(27%)	・駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)(25%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等)(23%)
	北口	・駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)(30%)	・駅付近からの大山の眺望等の景観(29%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等)(24%)
	南口	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等)(29%)	・駅付近からの大山の眺望等の景観(25%)	・行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等)(23%)
駅利用者	全体	・駅付近からの大山の眺望等の景観(39%)	・駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)(38%)	・駅周辺の街並み景観(29%)
	北口	・駅付近からの大山の眺望等の景観(41%)	・駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)(41%)	・駅周辺の街並み景観(32%)
	南口	・駅付近からの大山の眺望等の景観(38%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等)(35%)	・駅周辺の緑(駅前広場の植栽、道路の街路樹等)(35%)

※ () は回答割合

(b) 満足度が低い項目 (満足度の回答のうち、2点と1点の合計が多い項目)

		1位	2位	3位
在住者	全体	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (63%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (50%)	・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (41%)
	北口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (68%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (51%)	・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (47%)
	南口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (67%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (60%)	・行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等) (51%)
駅利用者	全体	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (63%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (37%)	・行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等) (36%)
	北口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (63%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (33%)	・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (33%)
	南口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (67%)	・行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等) (55%)	・公園や広場・オープンスペースの状況 (49%)

※ () は回答割合

(c) 重要度が高い項目 (重要度の回答のうち、5点と4点の合計が多い項目)

		1位	2位	3位
在住者	全体	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (71%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等) (63%)	・駅周辺の避難場所 (61%)
	北口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (80%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等) (69%)	・駅周辺の避難場所 (64%) ・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (64%)
	南口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (70%)	・生活関連サービス施設の状況(銀行、郵便局等) (66%) ・駅周辺の避難場所 (66%)	
駅利用者	全体	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (75%)	・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (63%)	・駅周辺の避難場所 (62%)
	北口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (77%)	・災害時の帰宅困難者向け一時滞在スペース (65%)	・駅周辺の避難場所 (64%)
	南口	・駅前商業施設や店舗の立地状況(業種や構成等) (77%)	・行政サービス施設の状況(市役所連絡所、図書館等) (63%)	・駅周辺の避難場所 (62%)

※ () は回答割合

b なって欲しいまちのイメージ

設問 愛甲石田駅周辺の将来なって欲しいまちのイメージを、該当すると思う番号すべてに○をつけてください。

※以下の各項目の中から選択。複数回答可。

項目

1. 鉄道の乗降、バスの乗換え・乗継ぎ・待合時間が便利で快適なまち
2. 駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち
3. 地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち
4. 商業施設が多く、賑わいのあるまち
5. 地域コミュニティ活動ができるような公園・広場等があるまち
6. 福祉・医療・子育て等に関する施設が充実したまち
7. マンション等の集合住宅を中心とした多くの人が住むまち
8. オフィスビル、事務所などが立地する働く人が集まるまち（働きやすいまち）
9. 玉川やその周辺の田園環境、大山などの自然と都市が共存するまち
10. 防犯・防災対策が充実した安心、安全なまち
11. 今のままでいい
12. この中にはない

		1位	2位	3位
在住者	全体	鉄道の乗降、バスの乗換え・乗継ぎ・待合時間が便利で快適なまち（61%）	地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（56%）	駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち（56%）
	北口	鉄道の乗降、バスの乗換え・乗継ぎ・待合時間が便利で快適なまち（66%）	地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（60%）	駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち（59%） 防犯・防災対策が充実した安心、安全なまち（59%）
	南口	駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち（60%） 防犯・防災対策が充実した安心、安全なまち（60%）		地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（57%）
駅利用者	全体	鉄道の乗降、バスの乗換え・乗継ぎ・待合時間が便利で快適なまち（62%）	地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（50%）	駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち（49%）
	北口	鉄道の乗降、バスの乗換え・乗継ぎ・待合時間が便利で快適なまち（69%）	地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（51%）	駅前広場や、駅周辺の道路（車道、歩道）が整備されたまち（50%）
	南口	地域の生活を支えるスーパー等の店舗が集まるまち（54%）	玉川やその周辺の田園環境、大山等の自然と都市が共存するまち（53%） 防犯・防災対策が充実した安心、安全なまち（53%）	

※（）は回答割合

※複数回答のため、合計は100%にならない。

c 愛甲石田駅やその周辺で必要だと思うもの

設問 愛甲石田駅やその周辺で必要だと思うものについて、あてはまるもの全ての番号に○をつけてください。

※以下の各項目の中から選択。複数回答可。

項目

1. 市役所出張所	19. スーパーなどの食料品店
2. 公民館	20. 日用品店
3. 図書館	21. コンビニ
4. 地域包括支援センター	22. 生活サービス施設（クリーニング屋等）
5. 子育て支援センター	23. 喫茶店、カフェ
6. 保健センター	24. 飲食店
7. 老人センター、老人憩の家	25. 居酒屋
8. 公園、広場	26. 衣料品店、靴店
9. 災害時の一時滞在場所	27. 家電量販店
10. ホール	28. その他物販店
11. イベントスペース	29. デパート
12. 駐輪場	30. 大型商業施設
13. 駐車場	31. スポーツ施設
14. 病院、診療所	32. 娯楽施設（パチンコ、カラオケ、ゲームセンター等）
15. 保育所、幼稚園	33. ホテル、ウィークリーマンション
16. 介護施設	34. レンタルオフィス、会議室
17. 郵便局	
18. 銀行	

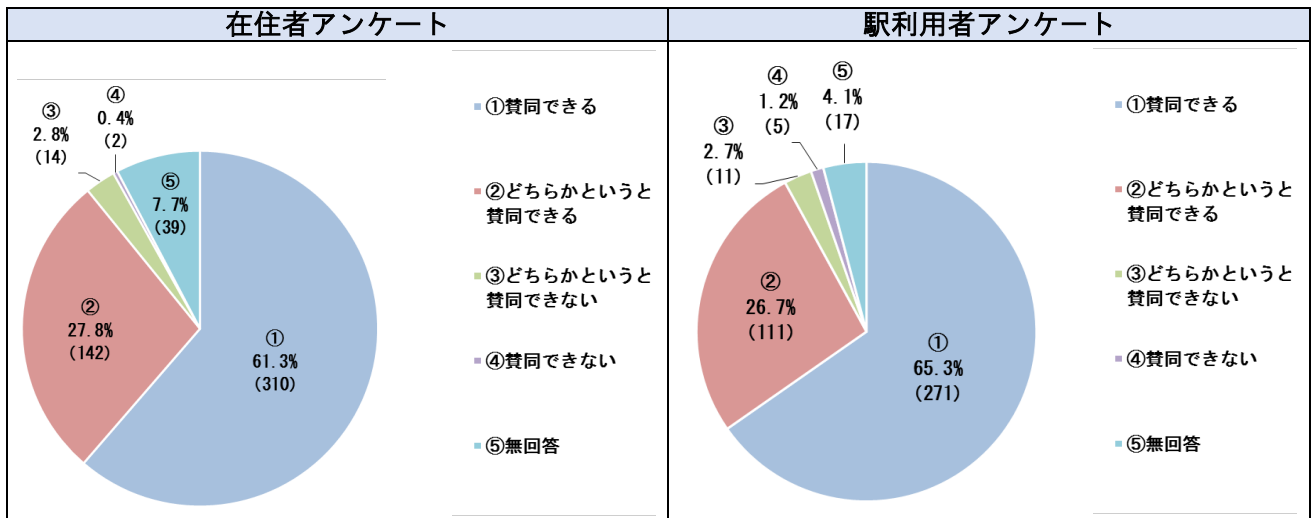
		1位	2位	3位	4位	5位
在住者	全体	スーパーなどの食料品店 (65%)	駐車場 (50%)	喫茶店、カフェ (46%)	銀行 (45%)	災害時の一時滞在場所 (45%)
	北口	スーパーなどの食料品店 (64%)	駐車場 (51%)	喫茶店、カフェ (49%)	銀行 (46%)	災害時の一時滞在場所 (45%)
	南口	スーパーなどの食料品店 (76%)	喫茶店、カフェ (55%)	郵便局 (49%)、銀行 (49%)、飲食店 (49%)		
駅利用者	全体	スーパーなどの食料品店 (57%)	喫茶店、カフェ (47%)	災害時の一時滞在場所 (40%)	飲食店 (39%)	銀行 (32%)
	北口	スーパーなどの食料品店 (57%)	喫茶店、カフェ (45%)	災害時の一時滞在場所 (41%)	飲食店 (40%)	日用品店 (33%)
	南口	スーパーなどの食料品店 (64%)	喫茶店、カフェ (55%)	飲食店 (41%)	銀行 (40%)	災害時の一時滞在場所 (39%)

※（）は回答割合

※複数回答のため、合計は100%にならない。

d 今後のまちづくりについて

設問 愛甲石田駅周辺のまちづくりを進めることについてお考えを教えてください。



※円グラフの（ ）は回答数

(4) 用語の解説

頭文字	用語	解説
あ	一号市街地	都市再開発法に基づき指定される、計画的な再開発を行うことにより都市全体の機能の回復、向上に貢献することとなる市街地。
	駅勢圏	鉄道の駅を中心として、その駅に集散する旅客などの輸送需要の発生が期待される地域範囲。
か	狭あい道路	一般的に幅員が4m未満の狭い道路。
	グリーンインフラ	自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方。
	交通結節点	異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。鉄道駅や路面電車などの軌道駅、バスターミナルなど。
さ	コンパクト・プラス・ネットワーク	居住と医療・福祉・商業といった生活する上で必要なサービスを提供する施設を公共交通(ネットワーク)と連携しながら、コンパクトに集積するまちづくり。
	市街地再開発事業	市街地内の、土地利用の細分化や老朽化した木造建築物の密集、十分な公共施設がないなどの都市機能の低下がみられる地域において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的とする、都市再開発法に基づく建築物及び建築敷地、公共施設の整備に関する事業。
	人口集中地区	原則として人口密度が1km ² 当たり4,000人以上の基本単位区などが市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域。
た	生産緑地地区	市街化区域内において緑地機能及び多目的保留地機能の優れた農地等を計画的に保全し、良好な都市環境の形成に資することを目的として定める農地。
	地区計画	それぞれの地区の特性にふさわしい良好な環境をつくるため、建築物の用途、形態等に関する制限や、道路、公園等の配置などについて、きめ細かく定める計画。
た	超小型モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両。
	都市機能	医療・社会福祉・教育文化・子育て支援など、都市の生活を支える機能。
	都市機能誘導区域	医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。
	都市基盤	一般的に道路・街路、鉄道、河川、上下水道、エネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤や学校、病院、公園などの公共施設。
	都市計画基礎調査	都市計画法第6条に「おおむね5年ごとに実施」するものと規定されており、都市政策の企画・立案及び都市計画の運用に資するため、土地利用現況・建物現況・都市施設・市街地整備の状況などについて調査し、都市の現況及び動向を把握するもの。
	都市計画道路	都市の骨格を形成し、安全・安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づき計画された道路。
	土地区画整理事業	都市計画区域内で公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる、土地区画整理法に基づく土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更に関する事業。

頭文字	用語	解説
な	二項再開発促進地区	都市再開発法に基づき指定される、計画的な再開発が必要な市街地（一号市街地）のうち、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区。 本市においては本厚木駅周辺などで指定されている。
ま	面的整備	市街地再開発事業や土地区画整理事業等のような、一定の区域を一体的に整備する手法。
や	ユニバーサルデザイン	「全ての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などに関わらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすること。
	要整備地区	一号市街地のうち、特に早急に市街地再開発事業等により土地の合理的な高度利用と市街地の環境改善を行うことが望ましい地区等。
	用途地域	都市計画法に基づく地域地区の一種で、目指すべき市街地像に応じて用途別に分類される 13 種類の都市計画の総称。
ら	立地適正化計画	住宅及び医療施設、福祉施設、商業施設その他の居住に関連する施設の立地の適正化に関する計画。居住誘導区域（居住を誘導すべき区域）・都市機能誘導区域（居住に関連する施設の立地を誘導すべき区域）を記載する。

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

参考資料